

会議名	第2回地域自治区予算分科会		公開
日時	令和3年7月6日(火) 午後7時30分～午後9時20分	場所	一鍬田公民館 2階 集会室
出席者	(委員) 伊藤寿規、安形茂、小林勝則、手塚喜賀、井上こずえ、滝川多嘉子、 細田圭介、中村美奈		
	(事務局) 自治振興課：宮本主査 自治振興事務所：近藤所長、岡本主任		
欠席者	(委員) 木野田直泰、安形貴代江、 山下誠裕、白井千穂	傍聴者	なし
配布資料	次第、協議会委員からの事業提案等、令和4年度八名地域自治区 予算各行政区事業提案等調査票まとめ		

### 議題・議事・発言等（要点記録）

#### 1 開会

分科会長が挨拶を行い、本日の分科会成立の報告を行った。

#### 2 説明

##### (1) 令和4年度地域自治区予算事業計画案の検討

令和3年6月23日付けで行った各委員からの事業提案、意見等の募集を基に作成した資料1について委員から順次概要を説明、欠席及び不在の委員の事業提案については事務局から概要を説明した。

##### <各委員から事業提案説明>

小林勝則委員、滝川多嘉子委員、中村美奈委員

##### <事務局から欠席及び不在委員の事業提案説明>

井原勉委員、木野田直泰委員、安形貴代江委員、田中純子委員、豊田啓季委員、柿野岳委員、白井千穂委員、西田みゆき委員

事務局から、令和3年6月23日付けで行った八名地区各行政区長からの事業提案、意見等の募集を基に作成した資料2について説明した。所長から、富岡東部区の事業提案が「なし」となっているが、八名小学校から中宇利地区に抜ける通学路（市道）の草刈りについて、見通しが悪く危険であることから、何か良い方法はないかとの意見を口頭にて聞いている旨の補足説明をした。その後、事業計画案の検討についての質疑を行った。

##### <主な意見>

(委員) 前提として、今回提案のあったものは全て地域自治区予算として取り扱えるという理解で良いのか。

(分科会長) 今後検討の必要があり、詳細な内容等によって市が実施すべきものに該当

しないと判断されれば該当しない可能性もあります。

質疑後、ホワイトボードを使用し新規事業提案及び、既存事業の継続について地域計画の柱ごとに分類を行った。(分類した結果については写真のとおり)

### <主な意見・検討内容等>

・海倉橋付近の横断歩道に押しボタン式信号を設置する

(委員)現場で愛知県警の指導では、現状右折レーン含み3車線あるので右折レーンを取り払い2車線にできれば横断する歩行者の安全も少し図れるのではないかとのこと。信号は年間1、2箇所の設置と聞いており、優先順位があり移設ならともかく、新規で手押信号のみ設置することは難しいとの回答を得ている。

・防火水槽の安全化(蓋の設置)

(委員)地元消防団に聞いてみたが、必要ないとの回答を得たので、区(一鉄田)として提案の事業である。

・JAプラザを地域活動拠点として活用することについて

(委員)建物に制限があり、拠点として使用できないことが昨年度判明した。今後、八名地域自治区で拠点としての使用を望むのであれば市に申し入れ(要望)を地域協議会から行っていく必要がある。ただし、他の地域自治区では市の管理施設を利用し会議等を実施しているのがなぜ八名はあえてJAプラザを利用するのか、今後も予算措置していくのか、そうした議論が起こる可能性があるのではないか。

・横断歩道へ手旗と箱を設置する

(事務局)地域自治区予算を活用しなくても、警察署に区長が要望すれば配布されることを確認しました。

・交通安全施設(カーブミラー)設置及び維持管理等

(事務局)八名交通安全推進協議会が設置したカーブミラーについては、昨年度から提案のあったものであるが、市として設置していないもので、新しいものに更新する場合は、市道として必要とされるものなのか市土木課に確認する必要がある。

カーブミラーは、各区長からの要望に基づくものであるので、市に対して要望があるかを確認する。

・地域安全灯の設置

(委員)地域安全灯は各区が設置しており、維持管理も必要となる。区ごとの要望を確認する必要があるのではないか。市に補助制度があり、平成27年度から平成29年度に地域地域自治区予算で上乘せ補助してきた。再び補助するかどうかは検討が必要ではないか。

・防犯カメラの設置

(委員)地域安全灯同様に事業の実施は各行政区で、基本的には既存の補助事業の上乗せしか考えられない。

・地域計画推進の仕組みを検討するための予算

(委員)来年度に向けて事務費等の経費を措置する必要があるが、詳細が決まっていないので、今後の地域計画分科会で検討が必要である。

・防災設備、備品の整備の補助(防災倉庫、防災備品)

(委員)自主防災会ごとに防災への考え方が違うこともある。

(事務局)市としてはどこまで整備していくのか、地域としてはどこまでを考えているのかを整理する必要がある。1つの行政区からの要望があるからといってそれを全てに当てはめるだけでは良くないので、全体として考える必要がある。勉強会を開催して考

えていく必要があるのではないか。消火器の整備についても同様である。

- ・小中学校、こども園との連携及び支援

(委員) 小中学校などの状況については、それぞれ聞き取りをしたほうがよいのではないか。

(事務局) それぞれ出向いて聞き取りをします。

- ・地域の活性化のための研究会(仮称)の開催

(委員) まちづくりに関する講師への報酬(講演会費用など)が考えられる。

- ・市道の支障木、路肩の雑草、側溝の蓋などの整備(維持管理)

(事務局) 草刈りについては市の方針を確認します。側溝蓋は市からの原材料支給で各行政区が対応しているので、区の中で要望を確認して対応するのが良いのではないか。

- ・AED設置の設置

(事務局) すでに設置しているものについては、5年リースということもあり継続していくことで良いか。新たに設置するかどうかについて条件の検討も含め、次回の検討としたい。

- ・共育推進にかんする交付金制度八名の共育推進について

(事務局) 八名では地域活動交付金により団体が共育の活動を行っているのが、その活動が評価されており、市としての事業の施行にできるのではないかと話かかっている。今後、自治区予算として措置していくことも考えられるので、検討事項に上げておくこととした。

確認や調整事項については、会長、分科会長、事務局で進めることとし、次回の分科会でその内容を踏まえて検討していくこととした。

#### 4 その他

- ・次回の地域計画分科会について

話合いの結果、次回の分科会を令和3年7月27日(火)19時30分から一鍬田公民館2階集会室で開催することとなった。

#### 5 閉会

# 令和4年度地域自治区予算事業計画案の検討（地域計画ごとの分類）

